

一年の悪病除け 「大般若経」

於幾の長寿院には、古い大般若経600巻が12の桐の櫃に納められ保存されています。

大般若経は、多くの宗派に通ずる最大の仏典で、16の菩薩がこの経とこれを供養する人々を守護すると言い伝えられています。

1月28日(日)、於幾地区で

この「大般若経」通称「おでいはんにゃ」が行われ、靈験あらたかな経櫃二つを地区の皆さんが交互に担ぎ、お札を配りながら全戸を回って、今年一年の悪病除けと家内安全を祈りました。



分 節

2月3日、町内各地で「豆まき」が行われました。屋形四社神社でも恒例の「豆まき」が行われ、神社の境内では詰め掛けた大勢の皆さんが、「福は内、鬼は外」と威勢よく投げられる福豆を争うように拾い、今年一年の無病息災を願いました。

また、2月2日、町内の保育所では一日早い「豆まき」が行われました。みんなで紙袋や画用紙を使ってかわいい鬼のお面を作り、「福は内」「鬼は外」と大きな声で豆をまき、「泣き虫鬼」や「おこりんぼ鬼」など、心の中の悪い鬼を追い出しました。

